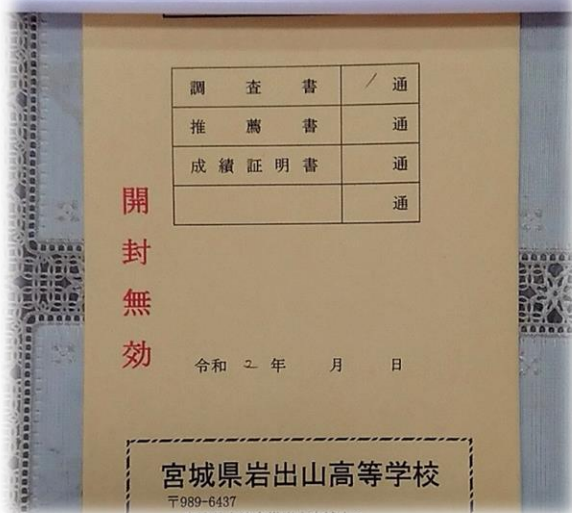


校長のつぶやき II

校長室便り 第32号

令和2年9月25日 山内

○調査書に思うこと ー一人一人の長所を引き出しー



定期考査がほぼ全員の受験で無事に終わることができました。定期考査を受験する当たり前のことが岩高ではできていませんでした。本当に嬉しいです。岩高は着実にステップアップしています。

師が走り回るくらいに忙しい月は12月ですが、3年生の担任・学年主任、事務室そして管理職の私も今が繁忙期です。それは、左の写真にある就職・進学「調査書」の作成があるからです。300人前後が1月の全国共通入試を受験する一部の高校は文字通り師走が調査書で最も忙しい時期ですが、本校のような就職希望者が大多数の高校は今がかさいれ時となります。

調査書は就職・進学で若干形式は異なりますが、三年間の学習成績、出欠、健康状態、部活動や委員会にクラスでの活

躍ぶり等が記載されています。その中で担任の先生が生徒の様子を記載する「所見欄」があります。今回も全員分目を通しましたが、本当に岩高生一人一人の長所を引き出している文章でした。マイナス思考の言葉(×)を控え、プラスの言葉(○)が並んでいます。いくつか例をあげれば、優柔不断(×)→思慮深い(○)、気が小さく頼りない(×)→謙虚でやさしい(○)、せっかち(×)→頭の回転が速い(○)、理屈っぽい(×)→論理的(○)、仕事が遅い(×)→仕事が丁寧(○)、耳を貸さない(×)→信念が強い(○)、行き当たりばったり(×)→臨機応変(○)など、一見短所に思える所も言葉の使い方次第で長所に変えられるものだと感心しました。もちろん(×)は私の偏見と経験であって、(○)に言い換えたものではないとも思います。

教師として駆け出しの頃、先輩の先生方に「卒業生を出してはじめて一人前の教師」と言われ、3年生の担任をさせてもらったのは4年目の時、三十年も前のこと。男子だけ44人を三年間持ち上がり、全員44人卒業しました。調査書も44通り、心を込めて作成しました。昨夏同窓会を開いてくれて、今でも付き合いは続いています。昨年今年も岩高ではじめて卒業生を出す先生方もいるのでしょう。

なお、写真にあるとおり、提出先の企業や学校以外の本人や家族が勝手に開封したならすべて無効となりますので絶対にそんなことはしないでください。大丈夫です。岩高生の不利になるようなことは一切書かれていませんから安心して「就職・進学」試験頑張ってください。

○修学旅行中止 ーやむをえない決断ー

昨日、2年生の担任の先生方から直接生徒に、文書とメールで保護者の皆様に修学旅行の中止についてのお知らせをしました。苦渋の決断です。ご理解いただきたいと思います。なお現在、代替案について検討中です。

○新生徒会執行部 ーつなぐバトンー

清太郎さんがまだ会長で茉帆さんが新会長だと思っていたら、もう新会長・副会長の認証式ですか。なんか、この歳になると歳月がはやく感じられて困っています。月曜日に認証式がありますが、新会長の氏家さん、新副会長の鈴木さんと野月さん新しい岩高のリーダー役をよろしく願います。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。